委員会活動より

アンビシャスの感染防止対策について

朝晩の冷え込みが厳しくなり本格的な冬を迎えた札幌ですが、新型コロナウイルス感染が一向に減る気配がありません。また、これからの季節はインフルエンザとの同時流行の懸念もある事から、11月に職員向け内部研修を行いました！感染症の歴史、コロナ後遺症の理解、同時流行した時の札幌市保健所の対応と流れについて知識を深め、その他ヘルパー研修では外部講師を招き「あなたのそばにある感染症～今できることを考えよう」をテーマに学習しました。私達が日頃あたりまえのように行っている手洗い方法については、赤外線を用いて検証し自分自身の洗浄効果について確認する機会にもなりました。
これからも、手洗いと消毒マスクの正しい着用、検温の継続を職員は徹底し、3密の回避、co2モニターを設置し小まめな換気、館内消毒と加湿などの環境づくりに努めていきたいと思います。
冬は換気が不十分になりがちですが、室内の換気はとても大事なポイントです。
感染予防と感染拡大防止に向けてこれからも取り組んでいきますので、皆様もご協力をお願いします。

感染防止委員　小澤・渡部・林

アンビシャスの未来予想図Part１

私たちアンビシャスは、平成12（2000）年にステップ６・２、自由工房、いるかの3事業でその歩みを始め、その後のケアセンター、相談室すきっぷの開設を経て、令和2（2020）年には法人設立20周年を迎えることができました。これも多くの皆さんのご支援によるもので、改めてお礼を申し上げます。さて、アンビシャスが今後も安定して法人を運営し、皆様に安心してご利用いただくため、次の20年、さらにその先を見据えてアンビシャスはどのようにあるべきなのかを考えていかなくてはなりません。社会のニーズに応えていくためにどのような事業展開が必要なのか、どこで実施するのか、そのための資金、人材の確保など役職員一丸となって検討してまいりますが、関係の皆様のご意見を伺い、お知恵も拝借してまいりたいと思います。
アンビシャスの第二の船出にご期待ください。

法人事務部長　佐藤

編|集|後|記|

昨年も大変お世話になりました。又、広報誌をご愛読頂きまして誠にありがとうございます。お陰様で、外出や企画等楽しんでいただけたことを広報誌でお伝えすることができ、大変うれしく思います。広報委員としても特別号といった新たな取り組みもでき、充実した活動ができたように感じています。次回の広報誌も楽しんで頂けるよう継続と更なる発展を目指していきます。今年もどうぞよろしくお願い致します。

広報委員会

〒006-0006　札幌市手稲区西宮の沢6条2丁目5-12
TEL：011-669-2222　FAX：011-669-3000
E-mail：ambitious@s-ambi.jp
http://www.s-ambi.jp

法人ホームページQRコード

社会福祉法人 アンビシャス

♪アンビシャスの日常の様子をお知らせする♪

アンビシャス広報誌

2023.1
Vol.9

昨年も数々の作品が生まれました！！

新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。関係諸氏におかれましてはつつがなく年を越されたことと存じます。例年にない遅い降雪で始まったこの冬は、やはり「春までには帳尻が合う」ような雪害が発生するかもしれません。くれぐれもご注意ご自愛ください。この数年は感染症、戦争、物価高騰に加えて様々な稀有な事件や事故、そして気候変動に起因するものもしないものも含めて国内外で自然災害が続いてます。「暗黒時代かくありき」とも思える地球規模の社会状況です。しかし歴史はその先に「日はまた昇る」時代が来ることも教えてくれています。それを固く信じてその日が来るまで、私たちは「静かに暮らす」「必要あれば逃れる」「とにかく生き延びる」ことを続けていきましょう。加えて歴史の教訓は「夜明け後は社会が変革する」ということです。過去にとらわれずに明日をしなやかに生きる術も身に着けたいところです。今年もよろしくお願い申し上げます。

２０２３年１月　吉日
理事長　長谷川　聡（はせがわ　さとし）

外出企画「藻岩山・小樽」

相談室すきっぷ

相談室では、10月に札幌市介護支援専門員協会西区支部の研修会、11月・12月に西区在宅ケア連絡会の例会にて、障がい福祉サービスや相談支援、8050問題などについて講演させていただきました。介護保険や医療など他分野の関係機関の方々から色々な質問もいただき、障がい福祉分野の状況や課題を知っていただく機会となりました。様々な分野の関係機関の方々との研修や意見交換を通じて、今後も顔の見える連携を進めていけたらと思っております。

また、10月札幌リハビリテーション専門学校の授業にて、当相談室のピアサポーター菊地さんが障害や生い立ち、地域での自立生活、ピアサポーター事業などについて講義し、作業療法士を目指す生徒たちが真剣に耳を傾けていました。今後もピアサポーターである障害当事者が地域の学校や住民らと交流を深め、障がいのある方の地域生活について理解を促していきたいと思います。

アンビシャスケアセンター

アンビシャスケアセンターでは派遣業務以外にヘルパー研修を開催しております。研修の内容は法令制度に関するものや介護技術向上を目的に事例検討や外部講師を依頼し開催することもあります。ヘルパーとしての役割を考え、安心される介護を目指しています。どうぞ本年もよろしくお願いいたします。

創作活動のすてきな時間

生活介護では創作活動も行っています。
今号の表紙をかざる絵手紙作品も利用者の皆さんが描いた作品です。同じ物を描いても色・形・大きさにそれぞれの感性が表れ見ごたえがあります。左の美しい羽子板も、利用者の方が丁寧に製作した作品です。
手先を動かし作品を作り上げることで、気分転換やリハビリになり充実感も得られます。他にもレジンに好きなパーツを組み合わせてつくるキーホルダーやアクセサリーなども楽しんで作っています。
今年も素敵な作品がたくさん生まれることを皆さんもご期待ください！

いるかトピック

２０２１年１０月に『いるか』『フルハウス』が事業統合し早いもので１年が経過しました。当初は職員も利用者の皆様も新しい体制や環境に慣れずバタバタした日々を送っていましたが、現在は『日中活動の場』として創作やレクリエーション活動、デリバリー企画や少人数外出などを行い賑やかな日々を送っています。
コロナ禍による感染予防の為、様々な規制があり利用者の皆様には我慢をさせてしまう事も多々ありますが、新しい『生活介護事業いるか』として利用者の皆様に『今日も楽しかったよ！』と言ってもらえる活動を提供していきますのでご期待下さい！！

いるか主任　小熊

クリスマス会のひととき